

# 多久中央男子 駅伝チーム

県駅伝大会初優勝  
そして全国の舞台へ

祝！多久中央 県中学駅伝大会で初優勝

多久中央（小川朋子監督）が11月12日に開催された男子第50回・女子第26回佐賀県中学校駅伝大会にて、初優勝の快挙を成し遂げました。野球部員やサッカー部員など、多彩なメンバーで構成された駅伝チームを紹介します。

## 11月12日 男子第50回佐賀県中学校 駅伝大会

杵島郡白石町ふくどみマイランド公園周辺コースにて開催された県中学校駅伝大会。多久中央は1区から4区まで首位をキープ。5区を力走した桃崎康太選手は、大会直前に右足首を捻挫するアクシデントを乗り越え、3位でタスキを繋ぎました。最終区の堀田悠主将は2人を抜き去り、トップでゴールテープを切り、1時間4分55秒で初優勝の快挙を成し遂げました。

また、1区（4km）の平形武丸選手が12分41秒、3区（3km）の大財望夢選手が9分36秒のタイムで区間賞を受賞しました。



区間賞の表彰を受ける平形武丸選手



2位を引き離し、ゴールテープを切るアンカーの堀田悠選手

## 11月26日 全国中学校駅伝大会出場報告



県駅伝大会で見事優勝を飾った多久中央。各県の1位、2位が出場できる九州大会、そして各県の1位が出場権を得る全国大会への出場を決め、メンバー

10人が横尾市長へ出場報告しました。報告会では、チーム主将の堀田悠さんが「今回の優勝は、仲間や保護者の支えがあつての優勝でした。九州大会でもみんながベストを尽くせるよう頑張ります」と市長へ意気込みを伝えました。



九州大会への意気込みを語る堀田悠選手（写真右）と平形武丸選手

「互いに切磋琢磨し、チームは強くなります」



▲スポーツピア陸上クラブメンバーと合同練習でスピードアップに励みます!!

多久中央は、総合型地域スポーツクラブ『多久スポーツピア』の陸上クラブで練習を重ね、他校のランナーとの合同練習で持久力を磨きます。練習では持久力をつける5〜6kmの時間走、流しを行い、メインの練習としてインターバルや、ペース走などでスピードをつけていきます。それぞれが切磋琢磨しながらメンバー全員が一丸となって練習に励んでいました。

## 11月30日 九州中学駅伝大会



▲3区間（3km）で粘りの走りを見せる北川智也選手

鹿児島県指宿市で開催された第33回男子・第25回女子九州中学校駅伝大会では、6人全員が粘りの走りを見せ、17チーム中15位の成績で走り終えました。

## 12月15日 全国中学校駅伝大会



山口県山口市にて開催された全国中学校駅伝大会。1区の堀田選手は大会直前に体調を崩したものの当日は設定タイム通りの力走を見せ、2区の平形選手（写真右）は19人を抜き去る快走。チーム全体で6人中4人が9分台のタイムを記録する走り、小川監督が目標とした20位台である24位の成績で大会を終えました。

大会を通じて  
チーム全体が成長



多久中央駅伝部  
おがわともこ  
小川朋子監督

長距離はどれだけ練習するかに加えて、本人が強くなりたいという気持ち大切です。陸上競技は、ごまかしがきかない競技。選手たちはそれぞれが県大会から全国大会まで、チーム全体で成長を見せ、大会を走りぬきました。